

佐保会兵庫県支部だより

第40号

佐保会兵庫県支部事務局

〒651-1133

神戸市北区鳴子2丁目19-6 永福方



雛人形に思う

森 由紀 (S56家修被)

今回の表紙を飾る美しい雛人形。実物を拝見したとき、和紙の深く雅びな色使いとしなやかな風合い、人形作りの技に心惹かれました。長年、被服学教育に携わってきた私には、手を使うものづくりがすたれていく現状が、残念でなりません。教育の場では、創造性、思考力や協調性などを養い、暮らしの中では心と豊かな感性を与えるものだと思っています。素材となる和紙や織物などの伝統的文化や技術についても同様です。聞けば、和紙がだんだんと手に入りにくくなっているそうです。雛人形の装束は平安時代の俗に言う十二単衣。幾重にも重ねた衣の襟元や袖口の色の組み合わせ、透けて見える表裏の配色に四季折々の花などの名を付け、おしゃれを楽しみました。季節のうつろいを敏感に感じ取り、それをまとった日本人の美意識は、周りの人をも涼しげに、あるいは暖かくするものでした。いくら空調が発達したとは言え、最近の服装にみる季節感の消失は、何か大事な心を失いつつある象徴のように思えます。

さて、私には大切な二つの雛人形があります。一つは大学の卒業記念にいただいたものです。被服学科では、奈良の一刀彫の男雛女雛1対が卒業生に贈られ、その注文などの手配は後輩の3年生の役目でした。いつからの慣例か知りませんが、9年後輩の時にはまだ続いており、その数年後になくなったと聞きます。やはり伝統文化である一刀彫の継承が難しくなったのか、あるいは改組により「被服学科」がなくなったからか、ここにも時代の流れが感じられます。そして、毎年飾るたびに大学時代が蘇り、その後の生き方を立ち止まって考える機会となっています。

もう一つは娘の初節句に今は亡き両親が買ってくれた、これも一刀彫のものです。幅40cm程の段飾りで、三人官女、五人雛子はもちろん、桜と橘やぼんぼりまで揃っています。若いマンション暮らしにはほど良い大きさで、素手で触ると油污れが蓄積すると、白い手袋が添えられています。娘が幼い時には汚さないかとハラハラし、成長後は一緒に飾るのがうれしく、大学生となり家を離れてからは、主役のいない寂しさを殊更に実感させられました。そして、今では両親の形見です。余談ですが、娘は奈良女子大に入学し、私と両親にとつて、しみじみとうれしいことでありました。そろそろ3歳の孫娘にゆずろうと考えています。彼女にとつて記憶にもない曾祖父の思いだけは受け継がれることでしょう。

いろいろな文化や伝統が失われていく中で、ひな祭りは例外のように感じられます。それは、娘や孫娘を思う気持ちは時代を超えても変わらないからでしょうか。

母と共に和紙人形を作っています。この和紙人形は、顔は、脱脂綿を強く巻きまるめて、胴体は針金と脱脂綿で、着物は、揉み加工を施した布のように柔らかくした和紙で作っています。着物は、和紙を和裁のように裁断し組み立て、揉み加工されていることから、動きを自由に表現できます。また、顔は、みなさんに表情を想像していただきたく、描いておりません。みなさん、いろいろな表情を想像して楽しんでみて下さい。

S 61理数 中島ひかる・堀内 節子

平成28年度 佐保会兵庫県支部総会

平成28年6月12日(日) ANAクラウンプラザホテル神戸

当日は曇り空ながらANAクラウンプラザホテルには昭和26年卒から平成25年卒までの佐保会員73名が一堂に会しました。

まずこの1年間に逝去された方々への黙祷から始まり、岩崎支部長の挨拶がありました。「佐保会は年齢を超え、学問領域を超え、親しく、楽しく交流するのがねらいです。心の充実を大事にしています。先日、新聞で外山滋比古さんが『人生晩年の友は宝物』と書かれていたのを見て我が意を得たりと思えました。佐保会の集いを通してお一人でもお二人でも友人関係を築いていただければと思います。」と佐保会の趣旨を話されました。その後新入会員の紹介があり、議事に入りました。平成27年度事業報告、収支決算報告、および監査報告、ついで平成28年度役員紹介では代表して新支部長永福より子様のご挨拶がありました。さらに新年度事業計画案、収支予算案等すべて滞りなく承認されました。

今年度で退任される方々のご紹介があり、岩崎雅美支部長、事務局からは山下知子様、松本佳代子様、福永ヒロミ様、本部理事 瀬川順子様、HP研究会 中村京子様、樺の会 田中明子様よりご挨拶がありました。「同窓生、憧れるべき人生の先輩に出会えたことをありがたく思う。」「兵庫県支部は他支部より支部だよりが各地区持ち回りで地区を掘り下げ、各会の活動が活発でうらやましがられる。兵庫支部は最高だと思おう。」等のご感想を述べられました。

平成28年に卒寿を迎えられた方は左記の5名おられます。卒後55年のお祝いには、甚目律子様、斎藤静子様、片寄眞木子様、乾登美子様、阿部多恵子様の5名が登壇され、記念品贈呈の後、それぞれ近況や感想を述べられました。また、瑞宝小綬章を受賞された昭和42年卒の酒居淑子様は暮らしの手帖に憧れて神戸の生活科学総合センター、兵庫県庁に入られたこと、職場で奈良女子大の先輩から激励を受けた思い出話等をお話されました。

報告としては、本部理事の片寄様より本部の活動内容、中長期計画のご報告がありました。特別企画第一部として奈良佐保短期大学学長馬越かよ子様の講演が行われました。和気あいあいとした昼食の後、午後からの第二部として文筆家伊東ひとみ様による講演が行われました。内容につきましては次のページで紹介しております。最後に全員で女高師の校歌を斉唱して総会は終了しました。

(千代延 記)

会次第

1. 物故者に対し黙祷
2. 開会のことば
3. 支部長あいさつ
4. 新入会員紹介
5. 議長選出
6. 議事
 - ① 平成27年度事業報告
 - ② 平成27年度収支決算報告および監査報告
 - ③ 平成28年度役員承認および紹介
 - ④ 平成28年度事業計画(案)
 - ⑤ 平成28年度収支予算(案)
 - ⑥ その他
7. 記念品贈呈
8. 卒寿のお祝い
9. 卒後55年のお祝い
10. 受章のお祝い
11. 報告
12. 一般社団法人佐保会および奈良女子大大学同窓会佐保会特別企画
 - ① 第一節 大学の現状について「短期大学は今」
 - ② 第二節 奈良佐保短期大学 学長 馬越かよ子氏 (昭和41年文学部英語英文学科卒)
 - ③ 第三節 文筆家 伊東ひとみ氏 (昭和54年理学部生物学科卒)
 - ④ 第四節 奈良女子大高等師範学校校歌 斉唱



平成29年度 支部総会
 平成29年6月3日(土)
 風月堂ホール
 JR阪神 元町駅(西口)
 下車 南へ徒歩3分

卒寿のお慶び
 (昭和22年卒業)
 佐々木 廣子 様 (臨家)
 竹田 喜代子 様 (臨数)
 宮岡 博子 様 (臨数)
 木村 綏子 様 (文)
 山下 静香 様 (家)

卒後55年のお慶び
 (昭和36年卒業)
 永友 修子 様 (理数)
 加藤 禮子 様 (理物)
 橋本 和子 様 (文英)
 阿部 多恵子 様 (文英)
 服部 恵子 様 (家住)
 村上 美枝子 様 (家被)
 松浦 博子 様 (家食)
 甚目 律子 様 (家食)
 内藤 節子 様 (文英)
 矢治 直美 様 (文史)
 前田 浩子 様 (文史)
 天川 葵 様 (家食)
 乾 登美子 様 (文社)
 松原 富美子 様 (文社)
 荒井 とみよ 様 (文国)
 片寄 眞木子 様 (家食)
 角野 蓉子 様 (文国)
 櫻場 和子 様 (家被)
 斎藤 静子 様 (家被)
 土井 千鶴子 様 (家被)
 山本 佐仔 様 (文幼)

受章のお慶び
 瑞宝小綬章
 酒居 淑子 様
 (S42家住)

— 哀悼 —

| | | |
|------------------|----------|---|
| 大井 好子 様 (S15家) | H26.5.26 | 没 |
| 藤木 典子 様 (S26家) | H27.2.24 | 没 |
| 稲垣 幸子 様 (S37理化) | H27.3.27 | 没 |
| 安場 英子 様 (S10保) | H27.5.20 | 没 |
| 伊藤 百合子 様 (S33文体) | H27.6.5 | 没 |
| 田畑 正子 様 (S58理数) | H27.6.29 | 没 |
| 橋詰 ケイ子 様 (S18家) | H27.8.8 | 没 |
| 長岡 加代 様 (S33理数) | H27.10.8 | 没 |
| 東 昌子 様 (S19文) | H27.12.8 | 没 |
| 笹原 順子 様 (S32文史) | H28.1.22 | 没 |
| 内山 美智子 様 (S20理) | H28.4.13 | 没 |

平成28年度 新入会員 (28名)

| 卒業学部 | 氏名 | 地区 | 卒業学部 | 氏名 | 地区 | 卒業学部 | 氏名 | 地区 |
|-------|--------|--------|------|-----------------------------|-------|------|--------|--------|
| 文メディア | 小林 希 | 高砂市 | 理生 | 佐々木 美穂 | 養父市 | 生環文 | 萩原 利江 | 西宮市 |
| 文日垂 | 原田 夏帆 | 神戸市西区 | 理情 | 今井 那緒 | 西宮市 | 生環文 | 前田 菜月 | たつの市 |
| 文欧米 | 雑賀 晴子 | 西宮市 | 生環食 | 天野 紗希 | 西宮市 | 博前数 | 柚原 佑香 | 淡路市 |
| 文欧米 | 辰濱 瑠奈 | 相生市 | 生環食 | 南光 真奈美 | 県外 | 博前物 | 宮谷 萌希 | 伊丹市 |
| 文心理 | 香川 葉月 | 加東市 | 生環健 | 金丸 櫻子 | 明石市 | 博前化 | 大西 理佐 | 尼崎市 |
| 文スポ | 粟津 智子 | 神戸市東灘区 | 生環住 | 祝 彩夏 | 西宮市 | 博前化 | 守田 つかさ | 西宮市 |
| 理物 | 井上 裕貴 | 神戸市垂水区 | 生環住 | 飯田 舞子 | 神戸市北区 | 博前生 | 土屋 江里佳 | 神戸市須磨区 |
| 理化 | 大中 早百合 | 尼崎市 | 生環住 | WONG WIDOMO CHRISTINE INEKE | 神戸市灘区 | 博後共生 | 水野 千恵 | 西宮市 |
| 理化 | 茂川 香澄 | 明石市 | 生環文 | 荒木 ひとみ | 加古川市 | | | |
| 理生 | 笹部 千波 | 神戸市垂水区 | 生環文 | 石村 玲奈 | 宝塚市 | | | |

(敬称略)

新支部長ご挨拶

永福 より子 (S44家住)



先ほどご承認頂き、新しく支部長となりました永福より子です。どうぞよろしくお願ひ致します。私は昭和44年家政学部住居学科を卒業し、建築設計事務所にて勤めた後、大学教員として3年前まで勤めておりました。

この度は大役をお引き受けして緊張しておりますが、事務局の方々と佐保会員の皆様のご協力を得まして頑張っていきたいと思っております。

今まで長い間佐保会のためにご尽力いただいた支部長の岩崎さん、事務局の山下さん、松本さん、福永さん、本部役員の瀬川さん、楳の会の田中さん、ホームページ研究会の中村さんに、佐保会員を代表して御礼申し上げます。

さて、兵庫県支部のホームページをご覧になったことはございますか。とても充実したホームページです。その中に支部だよりが1号から38号まで掲載されています。先日、全てに目を通しました。全体を通じて感じましたことは「佐保会員の皆さんが堅実に、誇り高く、しかも女性らしい美しさに満ちた人を送っていらっしゃる。」ということですね。

なかには佐保会の恩恵をこうも感じていないと感じていらっしゃる方もおられるかもしれません。けれども、私達が佐保会員であるというだけで社会が受け入れてくれる素地は、諸先輩方が日々の積み重ねによってつくって下さったものです。それが一番大きな恩恵であり、私も大きな恩恵を受けた1人です。皆さんも機会があれば是非ホームページをご覧ください。

これからは皆様のアドバイス、ご指摘をいただきながらやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

特別企画第I部

短期大学は今

奈良佐保短期大学学長

馬越 かよ子氏 (S41文英)

奈良佐保短期大学学長馬越かよ子先生から、短期大学の現状についてご講演をいただいた。内容は以下のとおりである。

奈良佐保短期大学は、昭和6年に佐保女学院として女性の教育機会を確保するため、奈良女子高等師範学校の同窓会「佐保会」によって設立された。昭和40年に短期大学に、平成13年に共学となり、校名が奈良佐保短期大学と変更された。

18歳人口の減少に伴い、短大・大学の現状は厳しく、ほぼ全人時代となり学生間の教養格差、経済格差が大きい。東大では、高校で成績が1番であったのに、入学直後の試験で順位が下がって自信を失い、つまりく学生がいると聞く。「東大への入学」自体を目標とし、入学後の目標を持たないから、あるといわれている。

本学では、保育士、幼稚園・小学校教諭、介護福祉士、栄養士などの資格取得という明確な目標を掲げて、専門職への認識の甘さから、実習で現実の厳しさに戸惑う学生に対しては、徹底して、自信を持たせる教育を実施している。

例えば、グループディスカッションにおいては、全員が発表者になりうる仕掛けをすることにより、安易な態度は許されず、グループの名譽にかけて懸命に取り組む。発表では、いかに稚拙でもほめる部分を見つけて出し、しかも、とってつけたように感じさせない工夫をして自信につなげる。

また、絵本の朗読で伝えたいことを伝える訓練を行う。他の学生にはそれを評価させ、否定語を禁止し長所に着目させることで、他者を思いやり認めようとする気持ち育てる。

様々なコンテストにも積極的に挑戦させている。県内のスイツコンテストでは、この3年間、奈良女子大を抑えてグランプリを獲得した。経済産業省の社会人基礎力グランプリ大賞にも応募させ、他のエントリー校は全て4年制である中、準大賞とユニークな内容に贈られる会場賞を受賞した。

失敗した学生には「あなたなら乗り越えられる」と激励し、優秀な学生には「相変わらずセンスがいいね」と常に気にかけ



られていることに気付かせるなど、個々に合わせればめ方を変える。このような教育により、謝恩会では感謝の言葉に教員が号泣するほど、強いきずなが結ばれる。

また、短期大学が生き残る道は地域との密着だと考え、「ちの拠点」としての役割を果たしている。「ち」は地域の「地」と知識の「知」である。子育て支援センターでは子育ての悩みに応え、農園では大和野菜、無農薬野菜の栽培をとおして保育園との交流も行っている。公開講座は、他大等との差別化を図るため「奈良」をテーマとし、全て好評である。

最後に「以上、先輩たちが設立した短大の存続のため頑張っていますので、ご安心下さい。眺望の良い素晴らしいレストランもありますので、是非お越しください。」と結ばれた。

(森 記)

特別企画第II部

名前と漢字文化

文筆家

伊東 ひとみ氏 (S54理生)

今年度は、『キラキラネームの大研究』（新潮新書）の著者として有名な文筆家の伊東ひとみ氏による講演を聞かせていただきました。

まずは簡単にご自身の歩みを話していただいたのですが、文筆家の方には珍しく奈良女時代には生物学科に在籍されていたそうです。しかしながら奈良の稀有な風土に魅せられて自分の道を見つけたら、奈良新聞社、東京の出版社と出版関係のお仕事をされたのち、文筆のお仕事を始められました。

今回は「名前と漢字文化」という題のもと、著書『キラキラネームの大研究』の内容を主体としてお話しいただきました。ご用意いただいた資料に並ぶ数々のキラキラネームに、お話が始まる前からだれもが興味津々。講演の最中も笑いばかりの大変ユニークで興味深いお話でした。

まず出てきたのは「光宙（ひかりちゅう）」というキラキラネームですが、最初からかなり衝撃的ですね。しかしこれは歴史上の人物「勘解由小路光宙（かでのこうじ・みつおき）」の漢字の読み方を変えてネット上で広まったものではないかという



ことです。このようにネット上では真偽のはっきりしないことが多いため、伊東氏はある市の広報紙に掲載された半年分の新生児の名前を調べること事態を調査され、そのうえで10の方程式を発見されました。全てご紹介したいところですが、字数の関係上いくつかだけ抜粋させていただきます。

・漢字の音読みや訓読みの一部を切り取る：例えば「結つ」の「ゆ」+「愛」の「ア」=「結愛（ゆあ）」。「利根音（りおね）」は「根（オウ）」の「オ」だけを使用しています。

・漢字のイメージ（意味）で読む：「陽太（ひなた）」、「陽葵（ひなた）」のように「陽」に「ひなた」というイメージがあることから読ませる。・オリジナルの熟字訓を創作する：「紗冬（しゆがあ）」。「読み（よみ）」から「シユガ」+「しゆがあ」となるそうです。これには思わず笑いが起きました。

他にも興味深い法則がさまざまあり、一言で「キラキラネーム」と言っても奥が深いものと改めて考えさせられました。

しかし、お話を聞いているとそれぞれに「これはキラキラネームとは言えないのでは？」と思う名前もあります。実際、伊東氏も研究されているとほとんど自分の中の境界があいまいになるのを感じたそうです。これまで、キラキラネームをつける親は「非常識・考えなし」と非難されることが多かったですが、それだけでは片づけられない、首と漢字のズレの「常識ラインの揺らぎ」が生まれてきているのです。

最後に伊東氏は、こうした漢字の用法の変化を「漢字」ではなく「感字」を使っているのだと表現されました。昔の伝統や規範で漢字を使用するのではなく、感覚で使用している。これは日本語の崩壊なのではなく、中国の文字であった漢字を借用した日本語がもとも持っている宿命であり、日本語という言語の豊かさと同様複雑さの表れなのだそうです。このたびの講演で、「キラキラネーム」に対する考え方が変わったように思いますが、もしもしたら自分がそうだと思っていないだけで、周りの人や自分の名前も「キラキラネーム」なのではよいか？ ただ、それは必ずしも悪いものではなく、日本の豊かな文化の一部ともいえるものなのですね。時間があつという間と思える素敵なお話でした。伊東様、ありがとうございました。

(菅野 記)

第17回佐保塾 史跡めぐり

日本三古湯 有馬温泉の歴史散策

～ 泉源と紅葉を訪ねて～

平成28年11月10日、佐保会と兵庫県支部との共催で開催した佐保塾は、有馬温泉の泉源と歴史を探访する旅でした。

有馬温泉は奈良時代から名湯と知られ、泉質は褐色の含鉄塩化物泉とラジウムを含む放射能泉、炭酸水素塩泉の3種類があります。いずれも湧出口では透明ですが、空気に触れ着色する含鉄塩化物泉（赤湯）は「金泉」、それ以外の透明な湯は「銀泉」と呼ばれ、昔は療養目的の温泉でした。有馬は昔から地震や洪水に何度も見舞われ、その都度復興を繰り返してきました。「行基上人」、「仁西上人」、「豊臣秀吉」は有馬温泉の復興と発展に寄与した三恩人といわれています。

ボランティアガイドのもと、温泉寺をはじめ三恩人と深く関わりのある寺々や、金泉が噴出する御所泉源等数々の泉源を散策しました。極楽寺では、秀吉の湯山御殿遺構（岩風呂・蒸し風呂）を保存する資料館、大間の湯殿館を見学しました。当時の温泉は、今で言うサウナで、蒸気を小屋の中に引いて温まっていたそうです。

2時間ほどの散策を通じて、有馬温泉がいつの時代にも人々に愛されてきた「癒しの場」であるということが再認識できました。



樺の会

文学講話 岩崎紀美子氏

『君死にたまふこと勿れ』と与謝野晶子
副題「知の人」としてその内なるトルストイ

片寄 眞木子 (S36家食)

平成28年7月28日(木)の講座は、大阪支部の岩崎紀美子様にお越しいただき、新しい視点からの与謝野晶子論を聴かせていただきました。岩崎様は定年後母校の大学院に入つて与謝野晶子の知性形成過程について研究し、博士号を取得されました。

詩「君死にたまふこと勿れ」成立の背景事情について、「人」が「人である」ことの認識(非戦の哲学)を、晶子がトルストイから学ぶことになった経緯のお話はたいへん興味深いものでした。日露戦争中の明治37(1904)年、『明星』9月号に発表されて論議を呼んだ「君死にたまふこと勿れ」旅順口包圍軍の中に在る弟を嘆きての詩の鮮烈な詩語のすべては、晶子のオリジナリティとされてきました。しかしこの背景に、同年六月にロシアの文豪トルストイ(76歳)が戦争を憂いて発表した「日露戦争論」の大きな影響があることを、多くの資料や文献を読み解いて証明してくださいました。

トルストイ文学との出会いは、その後の晶子の人生観や文学観を根底から変えさせるほどの強い衝撃をもたらして、晶子文学に影響を与えました。晶子は詩歌のみならず、社会評論の分野でも数多くの優れた発言を残した評論家であったことを強調されています。

新鮮な内容の与謝野晶子評論の面白さに引き込まれて、推理小説のようなワクワク感で聴き入った楽しい時間をありがとうございました。



樺(ゆずりは)の会 平成29年度(含平成28年度3月)行事予定表

| 月 日 | 内 容 | 会 場 | 時 間 | 講師(敬称略) | 備 考 |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------|-------------|-------------------|-----------------------------------|
| 3月23日(木) | 茶論ゆずりは(パートII) | 神戸市勤労会館 | 13:00～15:00 | 参加者全員 | 茶論(パートI)を踏まえてHPにUPしています。 |
| 5月25日(木) | 科学講座 遺伝子治療の現状 | 神戸市勤労会館 | 13:00～15:00 | 長田 久美子 | 参加費:300円 |
| 6月22日(木) | バスツアー 西脇方面 播州織工房 あじさい園 他 | 集合場所 三宮東急 REI ホテル前 | 9:00～16:30 | | 参加費:5,000円 申し込み必要 |
| 7月27日(木) | 文学講座 和泉式部日記 | 神戸市勤労会館 | 13:00～15:00 | 柳瀬 あや子 | 参加費:300円 |
| 9月28日(木) | 食文化講座 健康と食の安全・安心 | 神戸市勤労会館 | 13:00～15:00 | 岸本 律子 | 参加費:300円 |
| 10月26日(木) | 歴史散歩 船弁慶の地 尼崎を巡る | 集合場所 阪神大物駅(改札口付近) | 10:00～15:30 | 埴岡 真弓 | 参加費:3,000円 昼食費、入館料込み 申し込み必要 |
| 11月9日 (第2木曜) | 美術鑑賞 | 美術館または博物館 | 13:00～15:00 | 学芸員解説 予定 | 入館料実費 申し込み必要 |
| 平成30年 2月22日(木) | 福祉講座 高齢者介護の現状 | 神戸市勤労会館 | 13:00～15:00 | ケアマネージャー 田村 照美 | 参加費:300円 |
| 3月15日 (第3木曜) | 音楽鑑賞 ヴァイオリンの調べ | 三宮 磯上邸(予定) | 13:00～15:00 | 藤井 勢子 | 参加費:2,500円 ケーキセット付き 申し込み必要 |

*年会費制度は平成28年度で終了しました。 *事情により日時等変更することがあります。 *佐保会員以外の方も歓迎

*申し込み必要: 下記の運営委員、又は樺の会のEメール(yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp)にご連絡ください。

なお 年間行事の近々の予告や終了した行事の内容は「佐保会兵庫県支部」のホームページにUPされていますので、ぜひご覧ください。

平成29年度 運営委員 鈴木 美根子(078-927-8532) 片寄 眞木子 山下 知子 岩崎 雅美 乙武 ヨシミ

ホームページ研究会

山本 三和子 (S55理化)

大先輩の中村様の後を引き継ぎ、平成28年度より、ホームページ研究会の代表となりました。Wi-Fi環境の整った、クリスタルタワー5Fのブースにて、各自、PC、タブレットなどを持ち込み意欲的な先輩諸姉に囲まれ、楽しくをモットーに、兵庫県支部HPの運営、管理を行い、以下の行事予定内容にもゆつくりペースで取り組んでおります。興味のある方は、是非、いつでもご参加下さい。お待ちしております。

平成29年度 ホームページ研究会行事予定

| 日 程 | 内 容 |
|----------------|------------------------|
| 平成29年度4月19日(水) | ・ホームページビルダーを使って各自のHP作成 |
| 5月17日(水) | ・グーグルドライブの活用 |
| 6月21日(水) | ・Skypeを使って会議 |
| 7月19日(水) | ・FBを楽しむ |
| 9月20日(水) | ・各地区ブログ作成のお手伝い |
| 10月18日(水) | ・HP研究会のブログ立ち上げ、作成 |
| 11月15日(水) | ・樺の会の新しいブログ作成 |
| 平成30年度1月17日(水) | ・Wordの活用、Excelの活用 |
| 3月予定 | 丸岡玲子氏のパソコン講座 |

平成29年4月～平成30年1月の行事の場所・時間は以下の通り
場所: 県立神戸生活創造センター(クリスタルタワー 5F) 時間: 13:00～15:00

もより会報告

加古川市・高砂市・播磨町・稲美町支部 川崎 万紀代 (S52理修数)

これまで「もより会」には一度しか参加できなかった私です。にもかかわらず、同窓というだけで先輩方が仲間に入れてくださり、和やかな雰囲気の中で陶芸教室に参加することができました。

平成28年6月26日、場所は、JR加古川線粟生駅下車すぐの「あお陶遊館(アルテ)」。時間待ちの合間に、田中明子様、永田登喜子様が準備してくださったお弁当やお菓子をいただきながら、お互いの近況を話し、聞き合ううちに、一人ひとりの先輩方が、それぞれの生き方を通して、輝いておられることが実感として伝わってきました。いざ、絵付け組と手びねり組に分かれて陶芸教室が始まると、これはすごい！日頃から絵手紙や水彩画の趣味を持たれている方々は、ちゃんと下絵まで持参されていました。私のようにデザインの見本帳を何度もめくって真似をする人は、他にはいなきそう。できあがった作品は、一ヶ月後の焼き上がりを楽しみな力作揃い。手びねり組の人も、皆さん器用な方ばかりでした。

この日は、食べて、話して、手を動かし、互いの作品を鑑賞し合っ。ゆつたりと、充実した時間が流れていきました。お世話いただいた田中・永田先輩、温かく迎えてくださった先輩方に感謝です。



さて、来年度からは、大西・川崎コンビで「もより会」に貢献できればと願っています。

睦会報告

橋本 陽江 (S48理化)

第41回睦会は平成28年10月19日(水)、神戸元町の風月堂ホールで開催され、46名が集まりました。今年睦会のコンセプトは「糸」と「言葉」です。

共通の赤い糸が一本入った私たちの織りなす人生の布、60歳を過ぎて一段と味が出て参りました。そして織り上げる中でたくさんの方との出会いが布に彩りを作っていることを年々感じるほどに実感しています。年々、言葉への愛おしさが増していることに気づかされます。収録語数延べ324,000語という上代から現代までの言葉を時代別に集めた画期的な類語辞典『現代語古語類語辞典』を編纂された元西脇高等学校校長片生公男先生による講演「言葉の森に分け入って二十年」

日本語の豊かさに魅せられて」を拜聴してますますその感を強くし偉業に深く感じ入りました。講演後、S24卒の並川明子様に乾杯の音頭を取っていただいてランチ、歓談を楽しみ、質疑応答等のおと、中島みゆきの「糸」を皆さんで歌い、校歌を斉唱後、閉会の挨拶をS32卒の林

茂代様からいただきありがとうございました。



地区リーダー会報告

平成28年8月21日、神戸市勤労会館で第22回を開催。21地区中18地区のリーダー、樺の会、ホームページ研究会、睦会の代表、支部だより編集委員、事務局計33名が出席。支部長からは「もより会は兵庫県支部特有の活動で、近くの会員同士が知的な会話をを楽しむなど自発的に始められた」と紹介があり、会計からは、もより会補助金増額の説明があった。各地区から、もより会開催状況やリーダーの交代など熱心な意見やアイデアが出され、中・西播磨地区のプログラムの視聴、各会の報告がなされた。

平成28年度 地区リーダー

| 地区 | 氏名 | 卒年・学部学科 | 地区 | 氏名 | 卒年・学部学科 |
|-----------------|-------------------------|----------------------------|----------------------------|-----|---|
| 神戸市 | 東灘区 松本佳代子 S44文英 | 阪神北 | 川西市 (川辺郡) 猪名川町 多胡 京子 S39理数 | 東播磨 | 明石市 丸岡 玲子 S53理数 |
| | 山下 尋音 S54文英 | | 三田市 森 由紀 S56家修被 | | 松尾 真理 S55理生 |
| | 灘区 上原美由紀 H01文修国 | | 千代延栄恵 S63家生 | | 加古川市、高砂市 (加古郡) 播磨町、稲美町 川崎万紀代 S52理修数 |
| | 中央区、兵庫区、長田区 中田 昌代 S56文社 | | 大西 香里 H06理数 | | 西脇市、三木市、小野市、加西市 (加東市、(多可郡) 多可町 岸本 律子 S44家修食 |
| | 北区 中村奈里子 S59文国 | | 大橋 節子 S41文英 | | 姫路市、(神崎郡) 神河町、市川町、福崎町 長瀬 修子 S55理修生 |
| | 村田 久美 S62理生 | | 出井 葉子 S55文教 | | 相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、(揖保郡) 太子町 (赤穂郡) 上郡町、(佐用郡) 佐用町 吉田 啓子 S58文修教 |
| | 須磨区 光上記久子 S35文幼 | | 大橋 節子 S41文英 | | 豊岡市、養父市、朝来市、(美方郡) 香美町、新温泉町 米田 純子 S40理動 |
| 垂水区 出井 葉子 S55文教 | 八百美知子 S54理修生 | 篠山市、丹波市 小林 嘉子 S37家被 | | | |
| 西区 川本 美鈴 S47文教 | 新小田淑子 S59理化 | 洲本市、南あわじ市、淡路市 奥田 敦子 S54文修国 | | | |
| 阪神南 | 尼崎市 布村 沢子 S61家生 | 但馬 | 丹波 | 淡路 | |
| | 佐藤 美子 S50文修史 | | | | |
| 阪神北 | 西宮市 木村 恵子 S46家被 | 丹波 | | | |
| | 森田 幸子 S46家住 | | | | |
| | 芦屋市 池澤 直子 S49理化 | | | | |
| 伊丹市 | 岡本 京子 H01家修生 | | | | |
| | 伊丹市 金谷郁穂子 S58家被 | | | | |
| | 浅田 真理 S61家生 | | | | |
| 宝塚市 | 牧 桂子 S44文英 | | | | |
| | 稲津芙美子 S45理動 | | | | |

長する人々 むかし〜

いま

小山 進 (こやま すずむ)

プロフィール

1964年、京都市生まれ。2003年、兵庫県三田市に「パティシエスコヤマ」をオープン。「上質感のある普通味」を核にプロフェッショナルな味を展開し続け、1500坪の敷地内には現在7ブランドが点在する。

フランスのチョコレート愛好家協会「C.C.C」のコンクールで初出品の2011年から5年連続で最高位を獲得。「味覚の錬金術師」と評される。2013年から出品しているインターナショナル・チョコレート・アワーズでもロンドンで開催された世界大会にて数多くの金賞(1位)を受賞するなど、世界が今最も注目するパティシエ・シヨクリエの一人。



【パティシエスコヤマ】
〒669-1324 三田市ゆりのき台5丁目32-1 (地図上④)
<http://www.es-koyama.com>

「小山ロール」で有名なパティシエスコヤマのオーナーパティシエの小山氏は三田の魅力を広く国内外に伝える「さんだ夢大使」となっています。店にはいつも行列ができており、県外から買いに来られる方もたくさんいます。「どこどこもある定番をおいしく創る」「こと目指されたという「小山ロール」は、シンプルでいくら食べても飽きないおいしさです。

息づくまち、三田

置し、神戸市の市街地より六甲山系北西へ約35kmの圏域にあります。またこの地には、はるか昔からありました。九鬼水軍で知られる「九鬼水軍」の遺跡とされる「白州次郎」、そして「川本幸民」など、さまざま

や土地柄に魅力を感じ多くの方がの偉人の紹介を通して、少しでも思っています。



▲ウッディタウン・センチュリー大橋



新宮 晋 (しんぐう すずむ)

プロフィール

1967年大阪生まれ。東京芸術大学絵画科を卒業後、イタリアに留学。6年間の滞在のうち、風で動く作品を作り始める。以来、自然エネルギーで動く作品を世界各地に作り続けている。



世界的に有名な造形作家である新宮晋氏は、小山氏と共に「さんだ夢大使」に選ばれています。

「いちい」「くも」「ことり」「旅する蝶」など絵本を出版するかたわら、オリジナルな舞台も手掛ける。「里山風車」は、新宮氏が提唱する自然エネルギーで自給自足する村「呼吸する大地」のシンボルである。



新宮氏の作品は、有馬富士公園風のミュージアムにて見ることができます。
<http://windmuseum.jp/#author>

芸術センター客員芸術家。2000〜2001年、地球上の僻地6ヶ所の自然の風景の中に作品を設置し各地の人々と交流をはかる「ウインドキャラバン」を開催。

これは、新宮晋氏の作品を一同に見ることの出来る、世界で初めての野外ミュージアムでもあります。それぞれが風を受けて優雅に舞い、目には見えない自然のリズムを感じさせてくれます。

風のミュージアム(こづつ)

「風のミュージアム」は、三田市在住で風や水で動く作品で知られる彫刻家、新宮晋氏が兵庫県に寄贈した「里山風車」と風で動く12点の彫刻が、県立有馬富士公園の休養ゾーンに常設展示される野外ミュージアムです。(地図上③)

むかし

三田を代表

～いま～

豊かな自然とひとが

三田市は、兵庫県の南東部に位置を越えて北へ約25km、大阪市より豊かな自然と穏やかな気候に恵み人々が暮らし、歴史と文化を育んで「鬼家」や、終戦後の日本再興に貢て日本で初めてビールやカメラを作な人物のゆかりの地となっています。そして現在も、三田の美しい自然集まっています。そんな三田ゆかり三田のことを知っていただけたらと

九鬼氏

志摩(三重県)の戦国大名で、戦国時代には織田信長、豊臣秀吉に仕えていました。

関ヶ原の戦いでは二代目九鬼守隆が九鬼水軍を率いて活躍します。昨今有名な書籍「村上海賊の娘」にも登場していますが、強力な水軍として名を轟かせていました。

三代目の際に家督争いが起こり、京都の綾部とこの三田の地に分れます。三田藩の初代藩主は九鬼久隆、三田の地はこの九鬼氏のもとで大きく広がります。

最後の藩主となる十三代九鬼隆義は新しい時代を先進的な目で見据え、人材育成に尽力しました。その際ブレインとして活躍したのが白州次郎の祖父、白州退蔵です。

余談となりますが、この九鬼氏が理由で三田には他の地域にはない風習があります。それは節分の時の掛け声です。その名に「鬼」をもつ九鬼氏が治めていたという理由から、三田では「鬼は外」と言っはいいけません。「鬼は内、福も内」と言います。地域性が面白いですね。

ゆかりの地1. 「心月院」

(地図上②)

九鬼氏の菩提寺であり、三田の魅力の詰まった寺院です。

三田を知るにはまずここにお越し頂きたい。九鬼氏にまつわる書や物品だけでなく、狩野探幽の水墨画や幕末三舟(勝海舟、山岡鉄舟、高橋泥舟)の書など、さまざまにまつわるものがご覧になれます。



ゆかりの地2. 「旧九鬼家住宅資料館」

(地図上①)

擬洋風建築で建てられており、和風と洋風の混在した歴史的な建物です。設計は当主九鬼隆範自ら行っています。

九鬼隆範は鉄道技師でもあり、日本の鉄道開発に貢献した人物です。



川本幸民

1810～1871。三田出身の近代科学の祖と言われる人物です。

マッチの試作やビールの醸造、手作りの写真機による写真撮影を日本で初めて行つたとされています。

川本家は代々三田藩の藩医を勤める家系でした。幼いころから大変に優秀であった幸民は三田藩校に入学し、その後藩主九鬼隆国の指示で江戸遊学を命じられ、緒方洪庵とは同じ師のもとで蘭学を学んでいます。

三田の藩医を継いでからも江戸に留まり、医者の仕事のかたわら研究を続けていました。三十五歳の頃には薩摩藩主島津斉彬の依頼を受けて兵学や理化学に関する講義を行っています。

著書である「化学新書」において、日本で初めて「化学」という言葉を使いました。晩年は三田で「英蘭塾」を開いて優秀な人材の輩出に貢献しました。



永沢寺・花のじゅうたん



紅葉の有馬富士公園

白州次郎

1902～1985。日本の官僚であり、実業家。終戦連絡中央事務局次長、経済安定本部次長、貿易庁長官、東北電力会長などを歴任した人物です。

連合国軍占領下の日本で吉田茂の側近として活躍し、終戦連絡中央事務局や経済安定本部の次長を経て、商務省の外局として新設された貿易庁の長官を務めました。首相の側近として連合国軍最高司令官総司令部と渡り合い、「従順ならざる唯の日本人」などの評を得るに至っています。吉田政権崩壊後は、実業家として東北電力の会長を務めるなど多くの企業の役員を歴任しています。

白洲家は代々三田藩に仕えてきた儒学者の家系です。祖父の白州退蔵は九鬼氏の優秀な右腕として藩の成長に尽力し、父の白州文平も綿貿易の会社「白洲商店」を成功させるなど経済的な功績を残しています。三田はその「白州三代」のルーツとなっています。

次郎は英国ケンブリッジ大学に留学経験を持ち、紳士的で筋の通った人物として知られテレビドラマや書籍にも取り上げられています。プリンシプル(原理原則)を重んじるその生き方から「日本一かっこいい男」と書籍で称されました。



ゆかりの地1. 「心月院」

(地図上②)

次郎の遺言は「葬式不要、戒名不要」という簡素であるもののその理念が強く感じられるものであり、その通り戒名のない碑が心月院に残されています。

九鬼氏の菩提寺としても紹介しましたが、白洲家の墓も心月院にあります。白州次郎・正子夫妻の碑はここに並んで建てられています。次郎の墓石には「不動明王」

正子の墓石には「十一面観音」の凡字が刻まれています。



支部だより40年をたぐる

昭和52年に創刊された佐保会兵庫県支部だよりは今号で40号となります。永福新支部長よりご紹介にありましたように、兵庫県支部HP上で全号ご覧いただけます。
<http://saho-hyogo.grifriend.jp/NewFolder2/sibudayoriyou.html>

各号を振り返ってみますと、世代の違いこそあれ奈良女子高等師範、奈良女子大学への郷愁が感じられます。

一方、40年という時の流れも感じられます。またその時々でも変わらない、会員諸氏のご活躍の様子は多岐にわたる投稿よりうかがうことができます。このページでは40号を記念して、いくつかの観点から支部だよりを振り返ってみたいと思います。

◆表紙

18号以降は卒業生の画、書といった作品が飾る表紙ですが、1号から17号までは旧神戸インフォメーションセンター所長林利三郎氏による兵庫県内のスケッチです。いずれも支部だよりのために描かれたもので、軽やかなタッチによる街の表情が目を惹きつけてくれます。なお、13号には林氏の絵との出会い、そのお人柄に触れる投稿もありますのでご覧下さい。



第1号表紙



第13号表紙

◆アンケート
 多数の投稿の中で、アンケートを特集とした号がいくつか見られます。6号では大正卒業された方へのアンケートで、趣味や奈良の思い出などを尋ねています。10号では、愛読書や生きがいなどに対する回答を各世代ごとに集計されています。

◆県内の出来事

この40年の県内の最大の出来事としては阪神・淡路大震災でしょう。支部だより19、20号には震災経験者の投稿が見られます。残念なことに支部会員2名の方がお亡くなりになりました。家屋の全壊、半壊の被害にあわれた方も多かったようですが、編集後記で「皆さん復興に向けて頑張りました。」と力強いメッセージがのせられています。

また平成23年に起こった東日本大震災を受けて、36号では減災特集や、阪神・淡路大震災を語り継ごうといった投稿が見られます。

◆戦後70年を経過して

戦後70年を経て、支部会員も戦後生まれの方が多数を占める状況になっております。平和な時代が続くためにも、戦争を体験された記憶を拝読するのは非常に貴重なことではないでしょうか。

◆仕事と育児と

男女雇用機会均等法が昭和61年に施行され、女性の活躍の場が広がりが期待されました。その一方、結婚、出産、育児を経て働き続ける中で葛藤は現在も形は違えど存在するのではないのでしょうか。支部だよりにもその葛藤の一部が垣間見られます。(2、13、14号) 一方、新しく社会に出られた方々の初々しい声が見られ、仕事において円熟期を迎えられた方からは研究であったり、教員の方からの報告など多岐にわたるご活躍の様子がかがえます。

支部だより40号に寄せて

生まれ育ち、そして暮らす三田市

角野 敏子 (S58理物)

長年ここ兵庫の地に暮らしていますが、恥ずかしながら兵庫県全体について語れるほどの知識がありません。ローカルな話になりますが、私が生まれ育ち、今も暮らす兵庫県三田市について、少しお話をさせていただけようと思います。

兵庫県三田市は、私が生まれ、育ちましたところは、長らく人口3万人の小さな市でした。当時は、日本で一番人口密度の少ない「市」と称されていました。よく言えば、自然豊かな地でしたが、大阪、神戸から比較的近いところに位置しながら、本当に「田舎」でした。同じ近畿圏内出身の大学の同級生に、三田というのは日本海側？ときかれたことを覚えています。知名度も低かったのですね。

私が奈良女子大学に入学した頃、約40年前(ここで、計算してみると、私が大学入学から約40年ということに、今さらながら驚きました。)は三田と大阪を結ぶJRは、まだ単線でしたので、三田から奈良まで通学することはできませんでした。そこで、4年間奈良で部屋を借りて住むこととなりました。当時私の周辺で、女子で4年生の大学、それも親元を離れてというのは、ほとんど例がありませんでしたが、両親も奈良と言う土地柄、女子大というところで、多少なりとも安心して送り出してくれることができたのではなかったかと思えます。そして、私が大学卒業、就職してしばらく後には三田市は、人口増加率日本一と言われる時期がしばらく続き、JRも複線化され、大阪、神戸のベッドタウンとして人口10万人の街となりました。おかげで、いろいろ便利になりました。最近奈良を訪れることがありますが、当時に比べると、とてもはやく奈良に着くことに驚きます。が、それでもまだまだ緑の多い、自然豊かな街です。

さて私の方は、その後結婚で一旦、三田を離れましたが、子供の小学校入学を前に、吸い寄せられるように、また三田に居を構えることになりました。2人の子供たちはこの三田で育ちました。その子供たちが、大きくなるにつれ、そして仕事をしているとどうしても地域との関わりが薄れがちですが、会社生活も終盤にさしかかり、再び、地元三田の再発見、兵庫再発見の機会が増えてくるのではないかと思っています。

最近、私の勤めている職場のある地区で奈良女のOG会を開催していただき、多くの後輩の皆さんが近い職場で活躍されていることを知り、いろいろ勉強させていただきました。仕事で、結婚で兵庫県に移ってこられた方もあったかと思えます。若い方々とともに兵庫支部の活動が今後も継続されますことを祈念して、筆をおかせていただきます。



自然を残す有馬富士

支部だよりに関する情報

| 号 | 年度 | 地区 | 編集担当地区の特集内容 | 表紙 | 会報の変遷 | 県内の出来事 | 国内外の出来事 |
|----|-----|----------------|--|------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 1 | S52 | 事務局、有志 | 思い草、進行性筋萎縮症児とともに、香住の思い出、短歌等 | 林利三郎氏の画 | 6 ページ | 神戸市営地下鉄 (名谷～新長田間) 開業 | |
| 2 | S53 | 事務局、有志 | 調停二十年、新しい生活科学センター、保育所について一言、 新米教師等 | 林利三郎氏の画 | 8 ページ | 県立生活科学研究所開設 | 成田空港開港 |
| 3 | S54 | 事務局、有志 | 特集：専攻を超えて活躍の諸姉、佐保苑、結城紬考、教員の 思い出、新社会人として等 | 林利三郎氏の画 | 8 ページ | | 第2次オイルショック |
| 4 | S55 | 事務局、有志 | 旨味へのアプローチ、歌人素性のこと、家庭裁判所の調停、 卒業後の歩み、アメリカ便り等 | 林利三郎氏の画 | 12 ページに | | オリンピック・モスクワ 大会日本不参加 |
| 5 | S56 | 事務局、有志 | 看護学校教師として思うこと、市川房江氏と私、情報公害病、 仕事を通して思うこと等 | 林利三郎氏の画 | | 神戸ポートアイランド 博覧会開催 | |
| 6 | S57 | 姫路 | 特集：大正卒業会員アンケート、水上郡柏原町佐保会座談会、 短歌、新入会員のつづき | 林利三郎氏の画 | 地区担当制と なる | | 東北新幹線開通、 上越新幹線開通 |
| 7 | S58 | 明石 | 特集：30 代会員アンケート、佐保婦人学級について、ことばを 愛しむ、明石魚の棚物語等 | 林利三郎氏の画 | 支部総会報告 の掲載開始 | 県立歴史博物館開館 | 大韓航空機墜落事件 |
| 8 | S59 | 東灘区 | 特集：創作のよここびを如何ですか?、緞帳贈呈の日、 原爆記念日に寄せて、私と仕事等 | 林利三郎氏の画 | | グリコ・森永事件発生 | 新紙幣発行 |
| 9 | S60 | 芦屋 | 特集：新しい息吹を、卒業五十年におもう、十七年ぶりの 職場復帰等 | 林利三郎氏の画 | | 大鳴門橋完成、 ユニバーシアード神戸大会開催 | 電電公社民営化 |
| 10 | S61 | 尼崎 | 特集：世代アンケート、フレッシュさんの声、短歌、中学・ 高校の先生へのインタビュー等 | 林利三郎氏の画 | | | 男女雇用機会 均等法施行 |
| 11 | S62 | 伊丹 | 特集：look younger live longer (アンケート)、伊丹市案内 あまい言葉にご用心、ロンドンだより | 林利三郎氏の画 | | | 国鉄民営化 |
| 12 | S63 | 西宮 | 特集：座右の銘、フレッシュさんの声、向日葵、 西宮見てあるき等 | 林利三郎氏の画 | | 舞鶴道案内全線開通 北神急行新神戸～谷上間開通 | 瀬戸大橋開通 |
| 13 | H1 | 東灘区 | 教師をしている方の報告、しあわせの村見聞記、 林利三郎氏と絵と等 | 林利三郎氏の画 | | | 「平成」に改元 消費税導入 |
| 14 | H2 | 須磨区 | 特集：小中学生をもつ親のつどい、 家庭と職場、 児童相談に携わって等 | 林利三郎氏の画 | | | 東西ドイツ統一 |
| 15 | H3 | 垂水区 | 国際化社会、アメリカ分校に勤務して、ジャバとバリ、 命華やぐ、垂水散歩等 | 林利三郎氏の画 | | 兵庫現代芸術劇場設立 | |
| 16 | H4 | 姫路・西播磨 | 新入会員の声、研究ごぼれ話、俳句、短歌、詩等 | 林利三郎氏の画 | | 県立女性センター開設 県立人と自然の博物館開館 | バブル景気の終焉 |
| 17 | H5 | 三木、小野等 東播 | 特集：豊かさせて何?、若草誕生、社町紹介、 私たちのボランティア | 林利三郎氏の画 | 紙質が変わる 若草だより | 姫路城が世界文化遺産 に登録される | |
| 18 | H6 | 宝塚 | 特集：人生を彩る私の趣味、我が町宝塚、はなしの広場等 | 吉田俊子様の画 | | 但馬空港開港 | 関西国際空港開港 |
| 19 | H7 | 尼崎 | 特集：戦後 50 年を迎えて、阪神・淡路大震災、 おたよりあらかると等 | 那須瑞子様の画 | もとの紙に戻る | 阪神・淡路大震災 | 地下鉄サリン事件 |
| 20 | H8 | 伊丹 | 折々の想い(阪神淡路大震災、消費生活相談等)、 伊丹のみどころ | 飯塚栄子様の画 | 年度会計報告、 来年度予算掲載 | WHO 神戸センター開設 神戸電鉄公園都市全線開通 | |
| 21 | H9 | 川西・川辺郡 | 特集：川西の歴史探訪、はなしの広場 (結婚と仕事、老後の住宅を考える等) | 川西郷土館提供の画 | 紙質が変わる 消費税 5% に up 印刷費 20 万円に | JR 東西線開業 | 消費税が 3% から 5% に |
| 22 | H10 | 西宮 | 特集：華やぐころを迎えて(還暦等)、 西宮甲山周辺四季めぐり | 那須青魚様の俳画 | | 明石海峡大橋開通 神戸淡路鳴門自動車道全線開通 | 冬季オリンピック 長野大会 |
| 23 | H11 | 芦屋 | 特集：新しい世紀への架け橋 (人工化学物質のもたらした物等)、芦屋の里の文学めぐり | 芦屋十景の絵葉書より | | | |
| 24 | H12 | 東灘区 | 特集：21 世紀に翔く子どもたち、東灘の紹介、 ピロリ菌とのつきあい 10 年など | だんじりの写真と 子供の寄せ書き | | 淡路花博開催 播但連絡道路全線開通 | 三宅島噴火 |
| 25 | H13 | 灘区 | 特集：未来(震災を記録する、ボランティア活動の中から等)、 灘区の紹介 | 六甲山牧場 | | 神戸市営地下鉄 海岸線開通 | アメリカで同時多発 テロ |
| 26 | H14 | 中央区、兵庫区 | 特集：佐保会と私、奈良女と私等、 担当地区の紹介(地下鉄海岸線) | 岩井健作様の画 | | 県立美術館「芸術の館」開館 人と防災未来センター開館 | |
| 27 | H15 | 長田区、北区 | 特集：世代を超えた交流で元気を(アンケート)、 さわやかだより、プータンあれこれ等 | 川口登美子様の書 | | | |
| 28 | H16 | 須磨区 | 特集：私らしく生きる(中国人との交流等)、さわやか便り、 須磨歴史散歩 | 佐藤すなほ様の画 | | 兵庫県立大学誕生 | 新潟中越地震発生 |
| 29 | H17 | 垂水区 | 特集：戦後 60 年の節目にあたって(アンケート)、樫の会、 幼児の教育、新しい垂水の魅力等 | 曾谷愛子様の画 | | JR 福知山線脱線事故 兵庫県立芸術文化センター開設 | |
| 30 | H18 | 西区 | 特集：健康について日頃の心がけ、奈良散策、 神戸市埋蔵文化財センター等 | 修復中の佐保会館 の写真 | A4 サイズ・ カラーに 樫の会だより | 神戸空港開港 第 61 回国民体育大会開催 | |
| 31 | H19 | 明石 | 特集：心のかげはし(高齢者も PC でコミュニケーション、 親が教えるもの等) 文芸広場、明石の紹介 | 興地由紀子様の画 | | | 郵政民営化 |
| 32 | H20 | 加古川、高砂、 加古郡 | 特集：私のねがい(日々の暮らしの中で家族、職場や社会に 対して抱いている願い)、マイブーム、東播磨あ・ら・かると | 玉田れい子様の画 | | | |
| 33 | H21 | 西播磨 | 特集：私の奈良(母校の創立百周年にちなんで)、 西播磨ひと・めぐり | 笠木絵津子様の コンピューター加工写真 | | | 裁判員制度開始 |
| 34 | H22 | 尼崎 | 特集：「新しい節目に今思うこと」、短歌、俳句、川柳、 尼崎・見どころと尼崎グッズ | 建林章子様のうけつけ染 | | 淡路花博 2010 開催 | |
| 35 | H23 | 西宮 | 特集：私のターニング・ポイント、西国街道を歩く(西宮市域) 兵庫芸術文化センター | 赤川範子様の画 | | 第 1 回神戸マラソン開催 | 東日本大震災発生 |
| 36 | H24 | 芦屋 | 特集：減災を考える(3.11 からの私の新たな旅立ち)、 特別寄稿：有馬温泉と芦屋等 | 新支部長のご挨拶 | | | 東京スカイツリー 開業 |
| 37 | H25 | 伊丹 | 特集：至福のひとつ、座談会ー佐保会設立 100 周年に おもう、伊丹八景 | 飯塚栄子様の画 | | | |
| 38 | H26 | 宝塚 | 特集：トリプル周年を記念して、宝塚建物探訪 (自然・歴史・文化が織りなす魅力ある町)、支部だよりを寄せて | 乾登美子様の画 | | | 消費税 8% に up |
| 39 | H27 | 川西・川辺郡 | 特集：道はそれぞれ、戦後 70 年～平和な暮らしの中で、 水と緑に恵まれた川西・川辺郡 | 川口登美子様の書 | | | |

いきいきと生きる

30周年同窓会とホーム
カミングデーに参加して

中島 ひかる (S 61理数)

みなさん、奈良女子大では、30周年と50周年同窓会があることを知っていますか？
また、昨年度からは、30周年同窓会の前日に奈良女子大の施設見学と生協食堂での立食パーティーを楽しむホームカミングデーをしています。

8月20日(土)にホームカミングデーに行こうと、奈良女子大の門にたつと、おかえりと言うかのように昔と変わらない記念館が迎えてくれました。緑がこんなにあつたかな・・・と思うような木立の中、理学部C棟4階に行くと、懐かしい顔がふたり。30年の年を重ねてもすぐわかり、おしゃべりに花がさきました。それから、構内をまわつて、変わらないところ、変わったところ、新しいところを見つけて楽しみました。懐かしい講堂は昔のままの姿で建っていました。講堂での初めての卒業式は、私たちS61年卒業生。つまり、講堂も30周年なんです。生協にいくと、部活動の掲示板も昔のまま、30年前から勤めていた屋根さんもいらしてびっくりしました。立食パーティーでは、約50名が参加して、(学長始めみなさんが自慢していた)全国で1、2を争うおもしろい故郷うまいもんメニューや鯛の塩釜、奈良女ふりん、等々で舌鼓して、ほんとおもしろかったです。今岡学長からこの30年の奈良女子大の変遷や現役女子大生から学校生活の話をまた、奈良女子大クイズを聞いたりして、楽しい時間は、あつという間に過ぎてしまいました。

8月21日は、30周年同窓会が、ホテル日航奈良飛天の間で行われました。今年

は、なんと270名が集まり、学長の話に始まり、昔の懐かしい写真が流れたり、物理学科卒の飯間さんによるフラメンコなど盛大な会でした。みなさん、かわらない笑顔で結婚、子育て、病気、老い、震災、仕事、亡くなった恩師や友のこと等、話はずきることなく、また、私たちの卒業時は携帯もなく連絡もままならなかったのに、連絡先の交換などをしてたりしながら、楽しい時間は、またもやあつという間に終わってしまいました。このような盛大な会を企画してくださった同窓会実行委員会の皆様に感謝しつつ、次の50周年72歳をみんな元気に会おうね！次回数学科の同窓会も5年後に！と言いながら、名残惜しい中、散会になりました。

卒業50年会に参加して

河野 薫子 (S 41理化)

今年の5月23日(月)、奈良女を卒業して50年目の「50年会」同窓会があり、同期生119名が奈良ホテルに集まりました。私たちは約73歳ですので、元気に集えたことをまず喜び合いました。そして、多分、全員が感じたであろう事は、「皆さんかくしゃくとなさり、昔の個性そのままに人生を歩んでこられたのだな」です。顔、髪の色、スタイルに、やや、変形は感じるものの、声の色、口調、しぐさ等、昔のままに、寮でのおしゃべり、教室での会話を思い出しました。

50年会のプログラムの前半は、各クラス代表が近況を2分以内で発表です。私たち化学科では、今年のクラス役員が発表予定でしたので、他用で早退しなければならなくなつたとかで、急ぎよ、私に代役が回つて来ました。他のクラスメイトはだんまりで、私が貧乏くじを引いてしまいました。

私はいつもこのパターンで、貧乏くじを引いてしまう事が多く、地域社会でも、誰もが嫌がる自治会関係の役をここ数年受けてい

ます。私が住む地域は非常にバラエティーに富んでいて、2つの分譲マンション(約1000戸)、3つの県営住宅(約800戸)、古い兵庫県の戸建て分譲宅地(約800戸)、新しい民間分譲住宅地(約300戸)が混在しています。それぞれに独立した10個の自治会があつて、その連合体の取りまとめ役を押し付けられた格好です。

私の今までの人生で経験したことがないような人間関係、権力闘争(？)の渦巻く中、白髪頭の私は半ボケを売り物に、これが冥途の土産と言ふものか？と半ば諦め気分です。

世界を見渡せば、日本は人類初めてという超高齢社会です。これから、高度に発展した現代医療や福祉制度、広くは文明と日本人はどう対処するのか、一方、世界に広まるテロと言う新しい戦争にどう向かえばよいのか？と考えながら、足元のわが住むまちに目を向けると、何やら、世界情勢と相似形のミニワールドです。即ち、戦後70年を経て、ようやく行きわたつた個人主義と、老後の暇を持て余した人の増加故のクレーマーの増加、ミニ権力闘争の頻発です。

しかし、マイナス面ばかりではありませんが、前向きなプラス面も多く、リサイクル資源と呼ばれる古紙やアルミ缶等の集団回収も盛んになってきました。

自治会活動と言うと、しんどさばかりが思い浮かぶのですが、現実には自治会が全く無くなれば、どうなるでしょうか？一時は気楽でも、きつとまちは乱れ、汚れるでしょう。そして、災害や防災の必要に迫られて、再び、何らかの自治会組織が生まれると思います。

そんなこんなで、私は平穩無事で、ほんわか老後を夢見ていたのに、この1年間は過剰な脳トレを強要されています。無理な脳トレは禁物です。私も無理な脳トレで、天然ボケを一挙に悪化させないよう気を付けて暮らしたいと思う近頃です。

丹波に移住して

三角 三紀子 (S 44理数)

卒業と同時に関西の都銀に就職、3年で職場結婚、一姫二太郎の母になった。プロボーズは「銀行を辞めてくれ、親の面倒をみてくれるか。」だった。

九州男児の亭主関白。そのものの主人だ。二つ目の契りが現実になるのに、そんなに時間がかからなかった。義父の肺ガンが再発し、先が見えたころ、丁度福岡への転勤が決まった。実家の近くに家を借り、病院通い(見舞い、孫見せ)が始まり、三か月と短い期間だったが親孝行ができたと思っている。それから3回忌を済ませたころ義母を引き取り3世代同居生活をはじめた。お陰で赤ペン先生、公文塾の経営、大阪箕面に帰つてからは四天の非常勤講師などやる事ができた。女子大の諸先輩のご助言・ご指導によるところも大きい。

私の誇りは義母が大阪に転勤になる時「大阪について行きたい」と言ってくれたことと、10年あまり暮らした、箕面の自宅で見取れたことだ。この時、主人は東京単身赴任中でした。住み慣れた福岡を離れさぞかし寂しかっただろうと思う。

主人は義父の享年60歳を待ち切れず早期退職。長年の夢、地についた生活。みんなが集まれる家“を求めて、ここ丹波で、田舎暮らし”をはじめた。村入りから始まり、村の行事(部落独特の行事)：お日参、御供さん、河川の草刈り、部落所有のお寺とお宮のお世話：諸々。最初は戸惑うことも多かつたが、隣保の人たちの親切な行為に



写真は昨年(2019年)の6月11日舞鶴湾で釣り舟「新幸丸」で釣上げた「アコウ」と丹精込めて世話してる「ブルーベリー」です。

助けられ、何とかやりこなしてきた。移住して2年目ごろ借地が増え始め、ピーク時には稲作1町、畑作5反の本格農家になっていた。なんにでも首を突っ込む主人。商工会から始まり、観光協会、里山クラブ：と果てしなく続く主人の好奇心にはとてもついていけそうにない。最後には地元村おこしのグループに誘われ、濁酒を作るために、農家民宿の開業。と私を巻き込んでいく。いつの間にか、農家の嫁・民宿の女将をやらされる羽目になっていた。両手で手綱を引くのだが、全く効果なし。最近はやつと両方とも年齢を重ね少しずつ減らし、農業体験向きの作付け、果樹栽培（ブルーベリー・丹波栗・無花果…）、原木椎茸栽培に切り替えています。

でも、主人は目先が変わっただけでまだまだ旺盛だ。原木椎茸のほだ木のクヌギ苗木を200本植えたり（いつまで生きるつもり？）、孫の喜ぶ顔が見たさに、カプトムシの館？（現在15匹）“、鶏を庭で離し飼いをして卵は自家製：夢が尽きぬよう。

文句ばかり言ってる私ですがお陰でいろんなことを経験させてもらってきました。女ばかりの三姉妹の私。新婚時代から飲酒以外は主人の趣味に積極的に首を突っ込んできました。囲碁・麻雀・山登り・釣り・ゴルフ・旅行：と。どれも上手とは言えませんがそのいつときは楽しい思い出です。

民宿の女将もお世話が大変ですが、いろんな方とお会いでき、また来られるお客様がみんないい人ばかりで、幸せです。

三陸地方を訪れて

小林 嘉子（S37家被）

仙台空港を出発したバスは、風にそよぐ田んぼの苗を見ながら、やがて新築された住宅や工場、作業所が続く町並を通りました。しばらくすると平野が少なくなり、右に海、左に山を見ながらのリアス海岸ぞい

の道に入り、南三陸町、気仙沼を通って、陸前高田に着き、そこで初めてバスをおり、ガイドさんに案内されて、かさ上げ工事、防潮堤工事を遠くから見学しました。ここだけで多くの街に行っても「ここは町の中心部で、多くの人々の生活の場でした」と言われたところは、どこから運ばれて来たのか、数メートルも見上げるような土の山が重なり、海岸はダンブが行きかい、陸前高田では、すでにかんりの防潮堤が完成して、これも遠くからでもはつきりと驚くべき高さとなります。そこに生えていた七万本の松のうち、一本だけ残ったというあの海岸線です。津波におそわれたこの町も、山側に5〜8mのかさ上げをして住宅地に、海側は高さ10m近い防潮堤を築き2mのかさ上げをして、工場や作業場とする計画になっているそうです。

写真の大槌町では、その時多勢の人が逃げ込んだ高台から、海岸、道路、土地の造成工事のすすむ様子が見わたされて、津波が町をのみ込むのを逃げて来た人達は、ここからどんな思いでながめていたのか、胸が痛くなりました。

大船渡、釜石、宮古市田老町は、津波がおそった時の映像を目にすることが多い土地ですが、そこで出逢った人達の話と、実際に見た目の前の景色は「百聞は一見にしかず」の言葉通りの状態でした。

最後にこの旅をして、私が心で強く感じた思いを記します。

次々と続く海岸線はどこも工事中で、土や砂の山ダンブが走る景色ですが、左にずっと続く山並みは、木々がそびえ、緑が美しいこと！三陸地方は赤松が多いそうですが、それが見事に山を



おおい、ところどころに山ぼうしの白い花が咲き、山すそは山ぶきの群生がみられる緑ゆたかな美しい山々でした。いづれ海の工事が完成したときには、昔のように海と山がしっかりとけあったリアス海岸の美しい風景を取り戻してくれることを心から祈りました。

また、仮設で暮らしている人、ホテルの従業員、ガイドさんなど出逢った人達は、話を聞くときとそれそれ重い体験を背負っておられるのに、とても明るく笑顔がやさしい人達で、この人達とのふれあいが心なごむ旅になりました。「世界中の人ががんばれと応援してくれているのがんばらねば」という思いでここに生活の根を下ろしている人達が、「山」と「海」と「街」のとけあった三陸の新しいリアス海岸をやがて創り出されることを、旅を終えた今、心から願ったことです。

日々、奮闘

村岡 菜摘（H21博前人）

私の目下の目標、それは「都心の小さな敷地に由緒あるお寺と商業施設とホテルが違和感なく共存できる新しい外部空間を創る」「娘のオムツを外す」この二点である。

大学時代に、「箱」である建築自体の設計よりも、よりパブリックな「場」や「街」のあり方を考えることに興味を持ち、ランドスケープという分野に足を踏み入れた。運よく専門の設計事務所就職でき今年で勤続7年目となる。ランドスケープと言うと耳慣れない方も多いかもしれない。景観デザイン、造園、造景など様々な言葉で定義され、扱う範囲も家の庭から都市計画にまで及び、その言葉の持つ意味は多様で奥が深い。ただ、実際の業務で扱っている場所と言えば、マンションなど住宅の庭、ショップピングセンターの屋上庭園、ホテルのエントランスなどとても身近なもので、人の暮らしに密接に関わっている仕事だといえる。設計の際にはどのようにすれば人々が気持ちよく

過ごせるかということに常に頭に置いていく。そうして思いを巡らせながら絞り出したアイデアが実際の場となって出来上がり、楽しそうに利用する人を見る時などはこの仕事をしていて最も嬉しい瞬間だ。

まだまだ道半ばでランドスケープを語る程の者では決まっていなくても、日々ランドスケープに向き合いながら仕事をしている次第である。ただしそれは午後16時半まで。というのもプライベートでは幼い子供の母であるため短勤務であり、正直言ってもその後は仕事のことなど頭の中には皆無である。早く帰宅できるので余裕のある方だと思ふけれど、それでも子供を寝かしつけるまでは気を抜く暇もない。改めて世の働くお母さん達を尊敬する毎日だ。ただ、子供が生まれて状況が変わって自身の働き方にも変化があるように感じている。何が何でも子供最優先、時間厳守！という思いと時短だからと言って役立たずと思われたくない！という思いが必然的に仕事の能率を上げ、要領を良くしている。設計に際して子供やママの目線で見ることができるようにもなった。まだまだ男社会の建設業の中で貴重な役割を果たしているのではと自負したりもする。

今はまだ、家事に育児に仕事にとバタバタ追われるように過ごしているけれど、結婚や出産などで状況が変化したり役割が増えていくことで、人としての総合力ともいえるものを養える特権が女性にはあるのではと考えるようになった。そして、男性と同等ばかりを謳うのではなく、その総合力が女性の強みとして受け入れられ活かせる社会になればもっと素敵だと感じている。今日は約束していた娘のトイレトレーニングシート（トイレが成功したら、ご褒美にスタンプを押すシート）デイズニープリンセスパーションを何とか仕事の休み時間に完成させた。当面はまだまだこの調子で「一日一日を過ごすのに精一杯の状況が続くそうだ」。

平成28年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

| 役 職 名 | 氏 名 | 卒業年学部等 | 地 区 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|
| 支 部 長 | 永福より子 | S44家住 | 神戸市北区 |
| 副 支 部 長 | 橋本 陽江 | S50理修化 | 明石市 |
| 庶 務 | 中井 昌子 | S43家食 | 伊丹市 |
| | 乙武ヨシミ | S44理動 | 明石市 |
| 会 計 | 西山衣里子 | H16博前人 | 神戸市中央区 |
| | 谷本 彰子 | S49文英 | 神崎郡福崎町 |
| | 門脇 千里 | S53家食 | 加東市 |
| 会 計 監 査 | 富山 和子 | S53家住 | たつの市 |
| | 上田 俊子 | S37理数 | 神戸市東灘区 |
| 「 楫 の 会 」 運 営 委 員 (○印代表) | 出田美栄子 | S45文教 | 姫路市 |
| | ○鈴木美根子 | S42 家食 | 神戸市西区 |
| | 片寄眞木子 | S36家食 | 尼崎市 |
| | 山下 知子 | S39理物 | 神戸市東灘区 |
| | 中井 昌子 | S43家食 | 伊丹市 |
| | 岩崎 雅美 | S44家被 | 明石市 |
| ホームペー ジ研究会運営委員 (○印代表) | 乙武ヨシミ | S44理動 | 明石市 |
| | ○山本三和子 | S55理化 | たつの市 |
| | 中村 京子 | S32理物 | 神戸市東灘区 |
| | 片寄眞木子 | S36家食 | 尼崎市 |
| | 鈴木美根子 | S42家食 | 神戸市西区 |
| | 桂 美穂子 | S46理生 | 姫路市 |
| | 賀 川 栄 | S48理数 | たつの市 |
| 丸岡 玲子 | S53理数 | 明石市 | |

| 一 般 社 団 法 人 佐 保 会 | 監 事 | 山崎古都子 | S43家修住 | 芦屋市 |
|-------------------|-------|--------|--------|-----|
| | 理 事 | 片寄眞木子 | S36家食 | 尼崎市 |
| 代 議 員 | 中井 昌子 | S43家食 | 伊丹市 | |
| | 上田 俊子 | S37理数 | 神戸市東灘区 | |
| | 鈴木美根子 | S42 家食 | 神戸市西区 | |
| | 永福より子 | S44家住 | 神戸市北区 | |
| | 松本佳代子 | S44文英 | 神戸市東灘区 | |
| | 乙武ヨシミ | S44理動 | 明石市 | |
| | 橋本 陽江 | S50理修化 | 明石市 | |
| | 谷本 彰子 | S49文英 | 神崎郡福崎町 | |
| 山本三和子 | S55理化 | たつの市 | | |

一般社団法人佐保会監事、理事、代議員の任期はH28.8.1～H30.7.31

事務局だより

平成27年度事業
 5月22日(金) 拡大役員会(於神戸市勤労会館)
 6月14日(日) 支部総会(於風月堂ホール)
 8月30日(日) 第21回地区リーダー会(於神戸市勤労会館)
 11月11日(水) 第40回陸会(於楠公会館)(昭和47年卒業者担当)
 平成28年
 2月1日(日) 「支部だより」第39号発行(川西市・川辺郡猪名川町担当)
 2月13日(土) 「支部だより」第39号、「佐保会報」[「Today」等、全会員に発送]
 2月20日(土) 「支部だより」引き継ぎ会(川西市・川辺郡猪名川町↓三田市)
 4月2日(日) 会計監査
 ☆事務局会議 全6回開催

平成28年度事業
 5月13日(金) 拡大役員会(於神戸市勤労会館)
 6月12日(日) 支部総会(於ANAクラウンプラザホテル神戸)
 8月21日(日) 第22回地区リーダー会(於神戸市勤労会館)
 10月19日(水) 第41回陸会(於風月堂ホール)(昭和48年卒業者担当)
 11月10日(木) 第17回佐保塾 史跡めぐり 日本三古湯 有馬温泉の歴史散歩
 平成29年
 2月11日(水) 「支部だより」第40号発行(三田市担当)
 2月18日(土) 「支部だより」第40号、「佐保会報」[「Today」等、全会員に発送]
 3月25日(土) 「支部だより」引き継ぎ会(三田市↓北播磨地区)
 ☆事務局会議 全7回開催

(参考)
 平成29年度について
 (1) 支部総会 6月3日(土)(於風月堂ホール)
 (2) 「支部だより」第41号 編集は北播磨地区の担当
 (3) 「第42回陸会」は昭和49年卒業者の担当

平成27年度収支決算報告、平成28年度収支予算

| 支出の部 | | (円) | |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 科目名 | 平成27年度決算 | 平成28年度予算 | |
| 本部会費 | 498,000 | 600,000 | |
| 総会補助費 | 150,000 | 100,000 | |
| 通信費 | 221,978 | 230,000 | |
| 印刷費 | 27,244 | 50,000 | |
| 交通費 | 106,020 | 130,000 | |
| 事業費 | 支部だより作成費 | 209,583 | 220,000 |
| | 陸会補助 | 70,000 | 70,000 |
| | 楫の会補助 | 70,000 | 60,000 |
| | ホームページ研究会 | 30,000 | 30,000 |
| | 地区リーダー会 | 58,171 | 70,000 |
| もより会補助 | 124,920 | 170,000 | |
| 慶弔費 | 81,207 | 110,000 | |
| 事務費 | 143,508 | 150,000 | |
| 予備費 | 1,998 | 10,000 | |
| 小計 | 1,792,629 | 2,000,000 | |
| 次年度繰越 | 4,161,948 | 3,685,498 | |
| 合計 | 5,954,577 | 5,685,498 | |

| 収入の部 | | (円) | |
|--------|-----------|-----------|--|
| 科目名 | 平成27年度決算 | 平成28年度予算 | |
| 前年度繰越 | 4,577,788 | 4,161,948 | |
| 本部会費 | 498,000 | 600,000 | |
| 支部会費 | 697,500 | 800,000 | |
| 貯金利息 | 171 | 150 | |
| 本部より補助 | 142,258 | 123,400 | |
| 雑収入 | 0 | 0 | |
| 寄付 | 38,860 | 0 | |
| 合計 | 5,954,577 | 5,685,498 | |

<ご寄付いただきありがとうございました>

編集後記

佐保会の交流がほとんどなかった三田地区で、編集をお受けするのは不安であり、さらに、今までの支部だよりの素晴らしさにその感を一層強くしました。しかしながら、支部長様・事務局の方々をはじめ先輩諸姉のご教示、ご協力のお蔭で、ここに支部だより 40号をお届けできますことを大変うれしく思っています。

40号という節目であることを特徴づけ、この機会に三田の魅力を知っていただくよう編集を進めました。そして、かわった全ての会員の皆様、輝いておられたことが「いきいきと生きる」の特集ページにつながりました。

改めてその一員であることを誇りに思い、貴重な出会いをいただいたことに編集委員一同、心より感謝いたします。有難うございました。

編集委員(森 中島 千代延 菅野)

資産内訳(平成28年4月2日現在)

| | |
|--------|------------|
| 定額郵便貯金 | 2,450,000円 |
| 郵便貯金 | 405,093円 |
| 振替貯金 | 1,306,855円 |
| 合計 | 4,161,948円 |